

株式会社東京精密 2016年度 第2四半期 決算説明会

2016年11月11日
株式会社東京精密
代表取締役社長CEO 吉田 均
証券コード 7729

*

将来の事象に係わる記述に関する注意

- ◆ 本プレゼンテーション資料で提供する情報は、現時点で入手可能な情報をもとに、当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいております。
- ◆ これらは、市況、競争状況、半導体業界ならびに自動車関連業界等の世界的な状況を含む多くの不確実な要因の影響を受けます。
- ◆ 従って、今後の当社の実際の業績が、本プレゼンテーション資料における記述と大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

2016年度 上期業績 概要

単位: 億円(配当除く)	15年度		16年度		
	上期	下期	上期	前下期比 H/H	前年同期比 Y/Y
売上高	380	323	372	+15%	-2%
半導体製造装置	239	179	243	+36%	+2%
計測機器	141	144	129	-10%	-8%
営業利益	76	56	66	+18%	-14%
半導体	48	25	44	+78%	-8%
同率	20%	14%	18%	-	-
計測	28	31	21	-31%	-24%
同率	20%	21%	17%	-	-
経常利益	77	56	63	+14%	-17%
親会社株主に帰属する 当期純利益	55	42	47	+10%	-15%
1株配当	26円	33円	34円	+1円	+8円

* 1株配当 30円→34円へ修正



2016年度 第2四半期業績

単位:億円

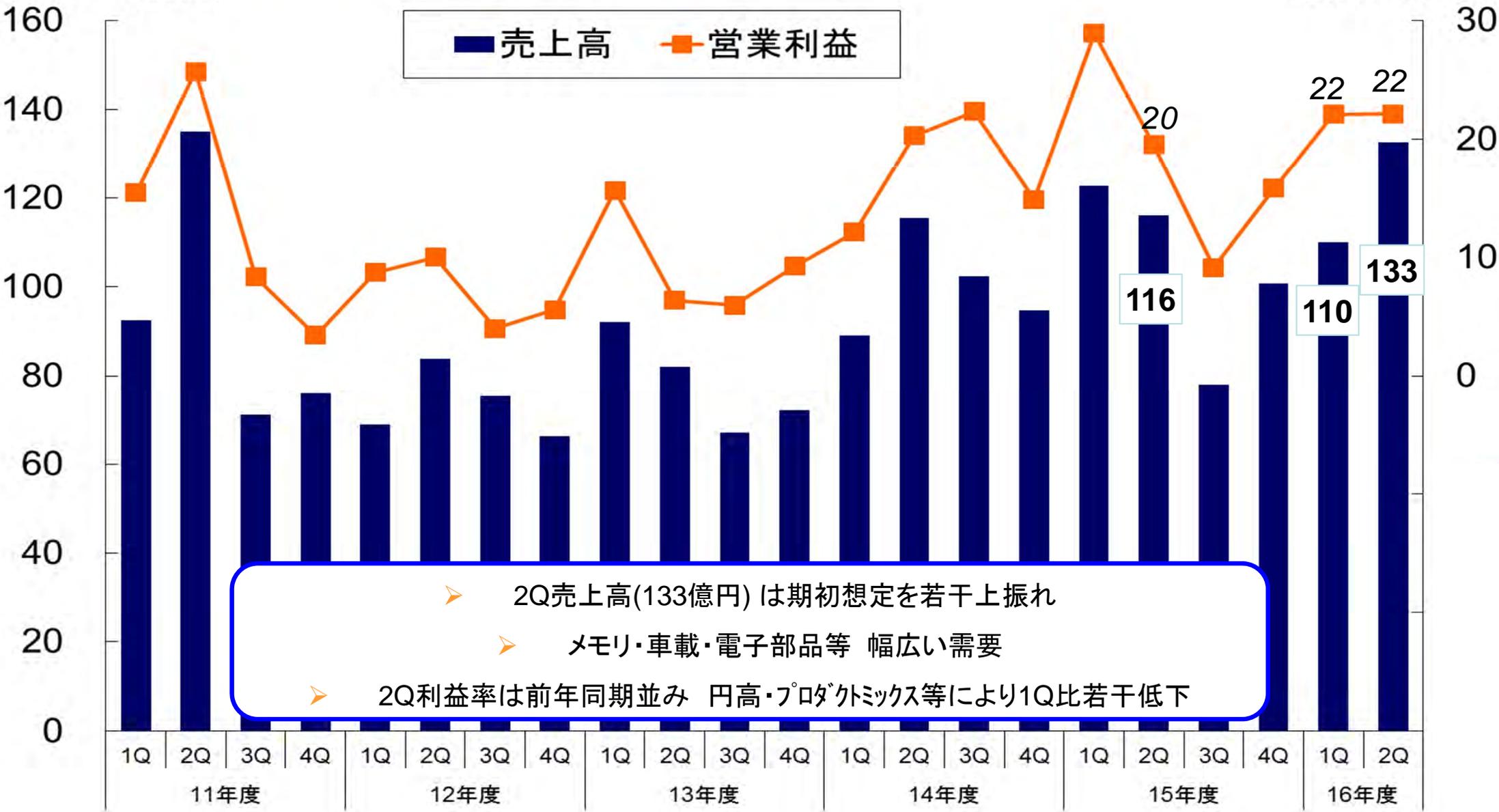
	2015年度				2016年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	前 四半期比 Q/Q	前年 同期比 Y/Y
売上高	184	196	144	179	163	209	+28%	+6%
半導体製造装置	123	116	78	101	110	133	+21%	+14%
計測機器	61	80	66	78	53	76	+43%	-5%
営業利益	39	38	22	34	29	37	+30%	-1%
半導体	29	20	9	16	22	22	-1%	+13%
同率	24%	17%	12%	16%	20%	17%		
計測	10	18	13	18	6	15	+141%	-16%
同率	16%	22%	19%	23%	12%	20%		
経常利益	39	37	23	32	26	38	+45%	+0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	28	27	17	25	19	28	+49%	+3%

半導体事業 - 売上・営業利益推移

売上高(億円)

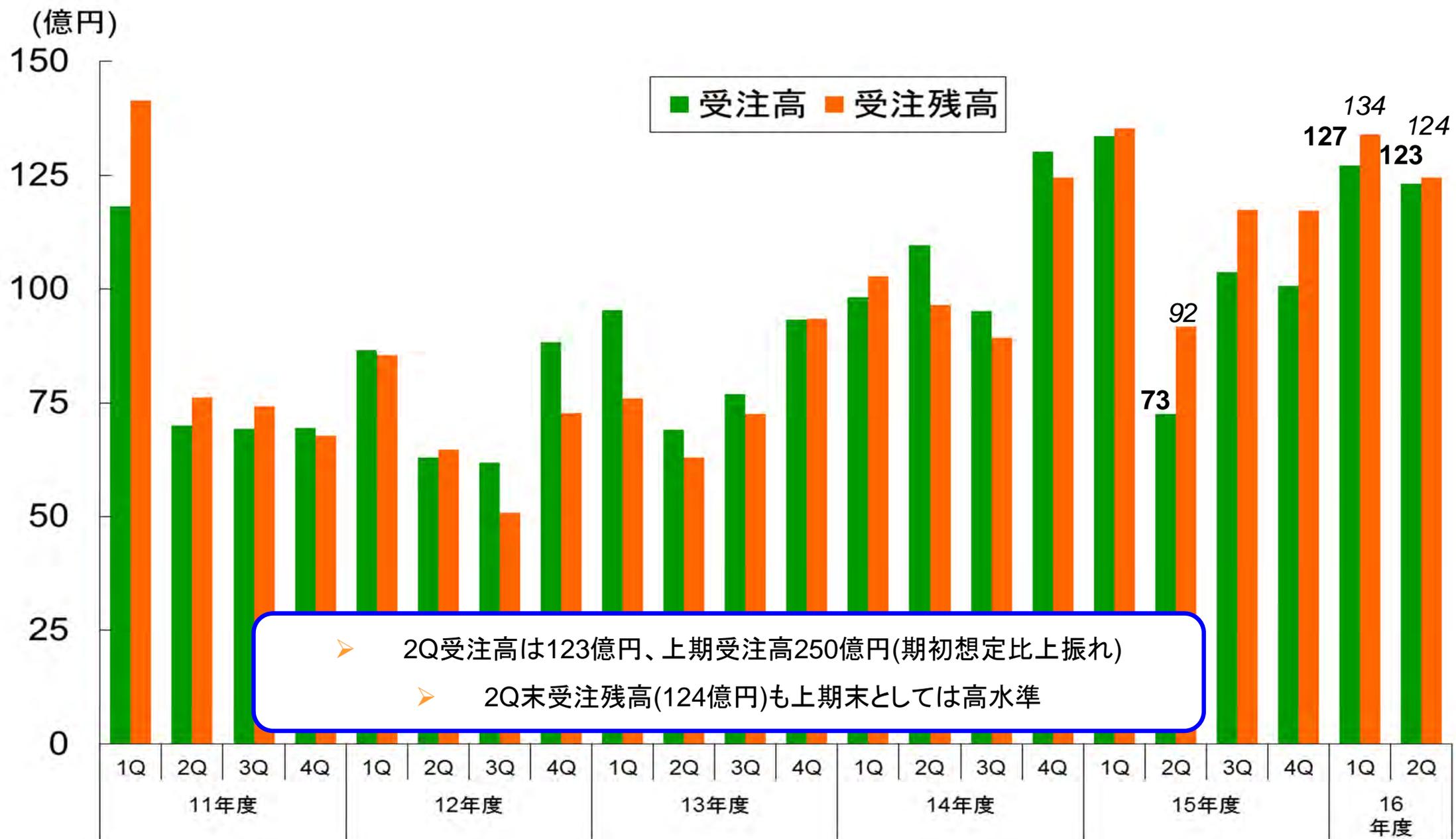
営業利益(億円)

■ 売上高 ■ 営業利益



➤ 2Q売上高(133億円) は期初想定を若干上振れ
 ➤ メモリ・車載・電子部品等 幅広い需要
 ➤ 2Q利益率は前年同期並み 円高・プロダクト外ミックス等により1Q比若干低下

半導体事業 - 受注・受注残高推移

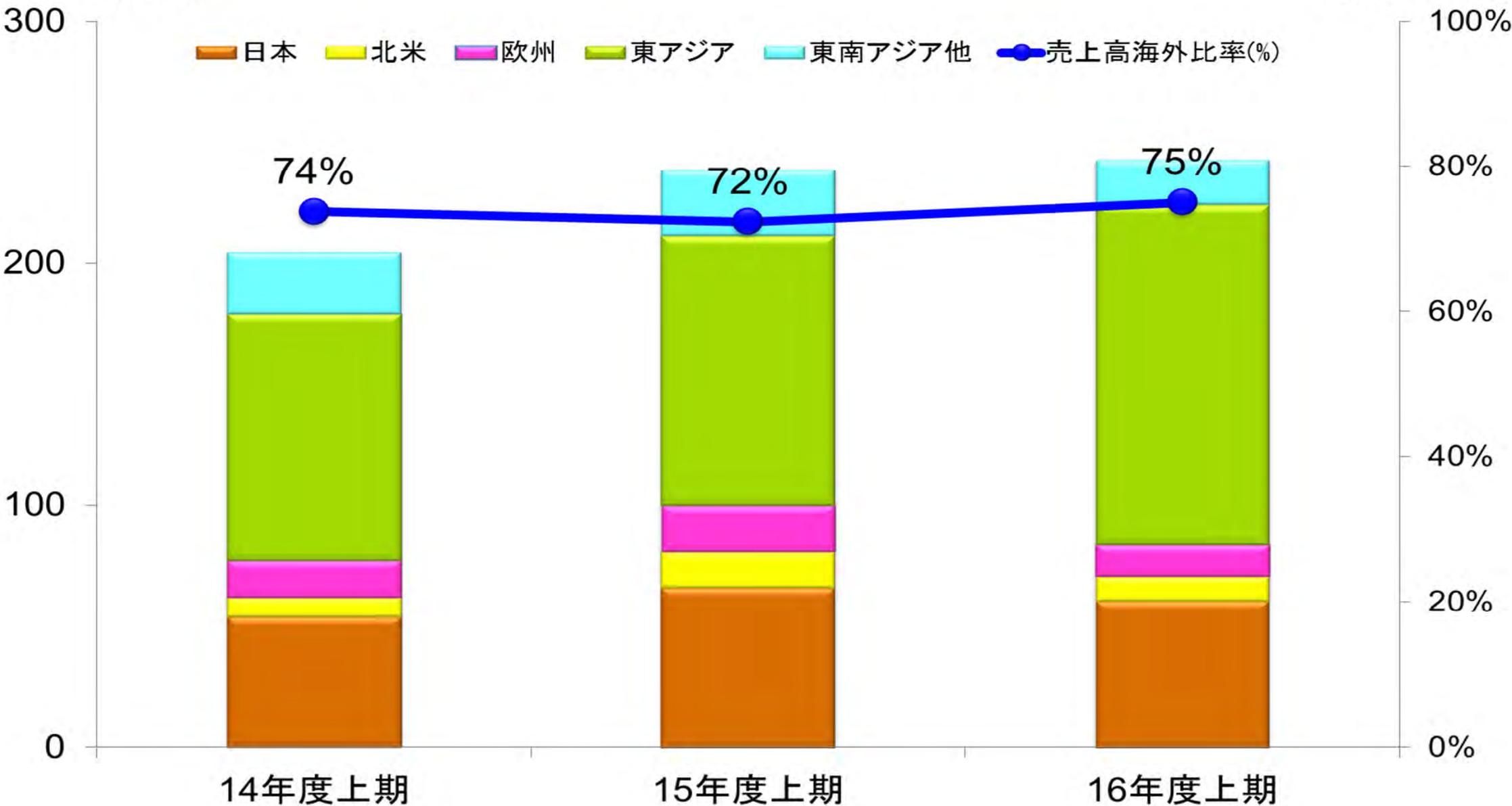




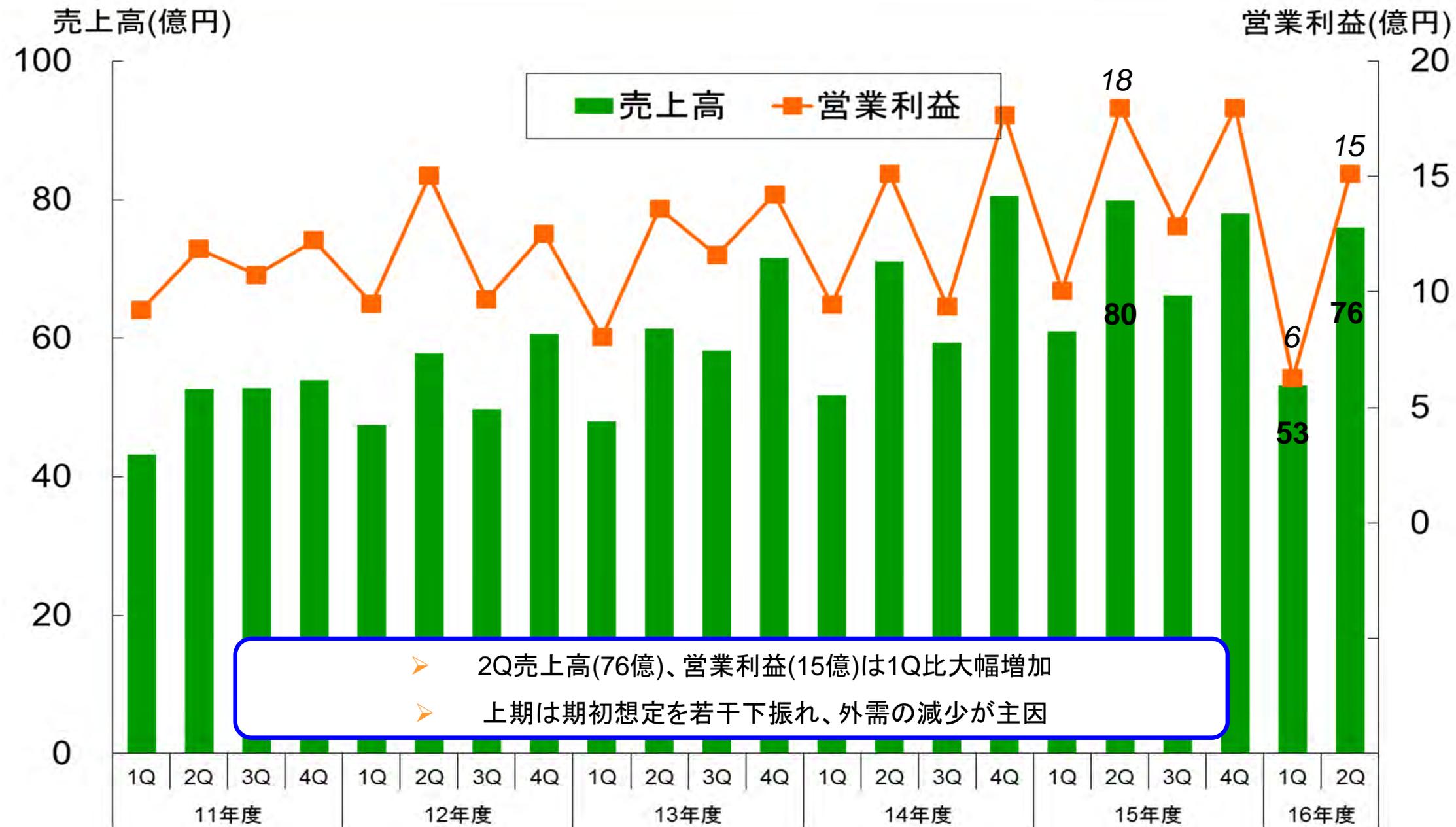
半導体事業 - 地域別売上高推移

売上高(億円)

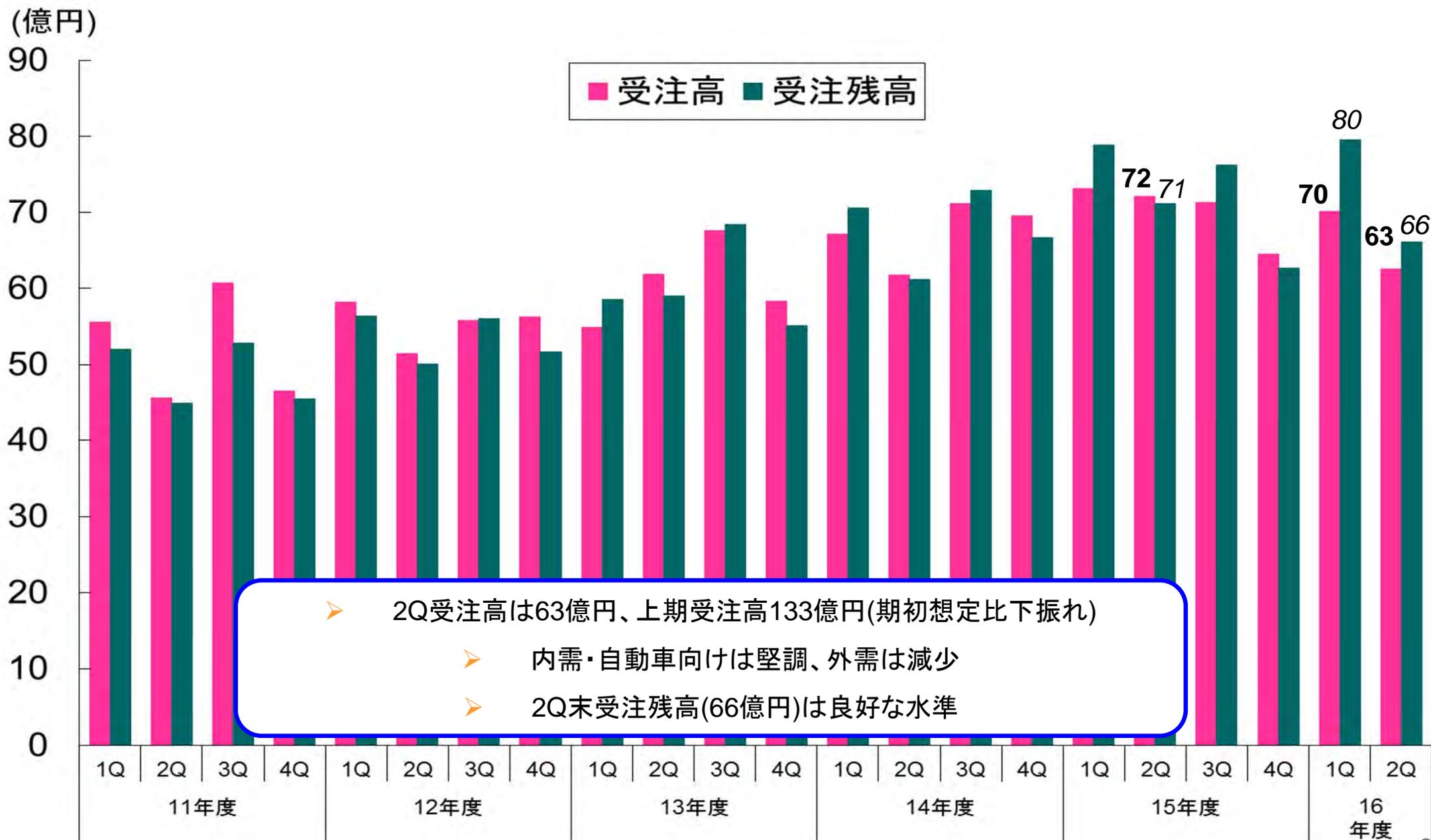
海外比率(%)



計測事業 - 売上・営業利益推移



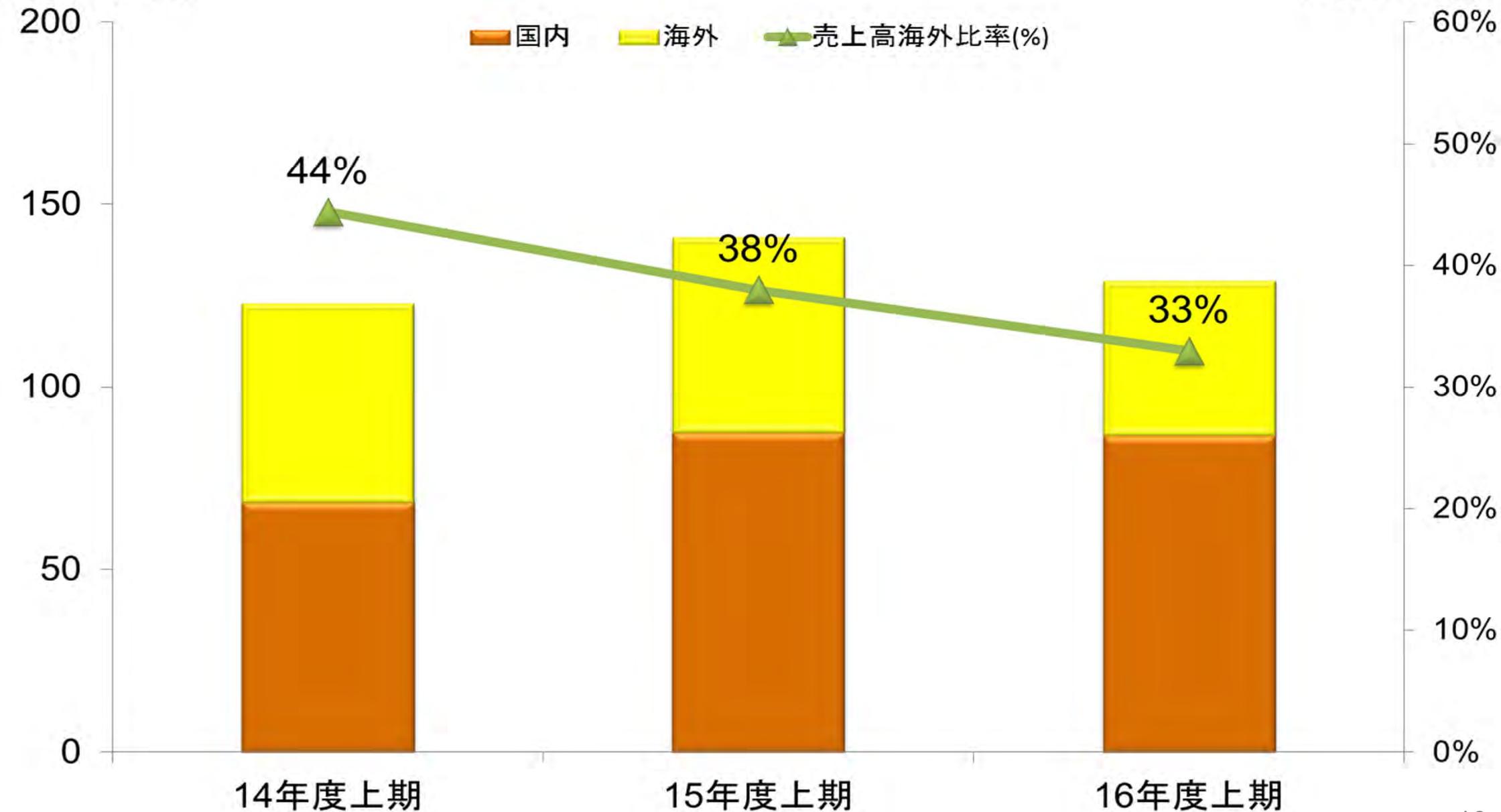
計測事業 - 受注・受注残高推移



計測事業 - 地域別売上高推移

売上高(億円)

海外比率(%)



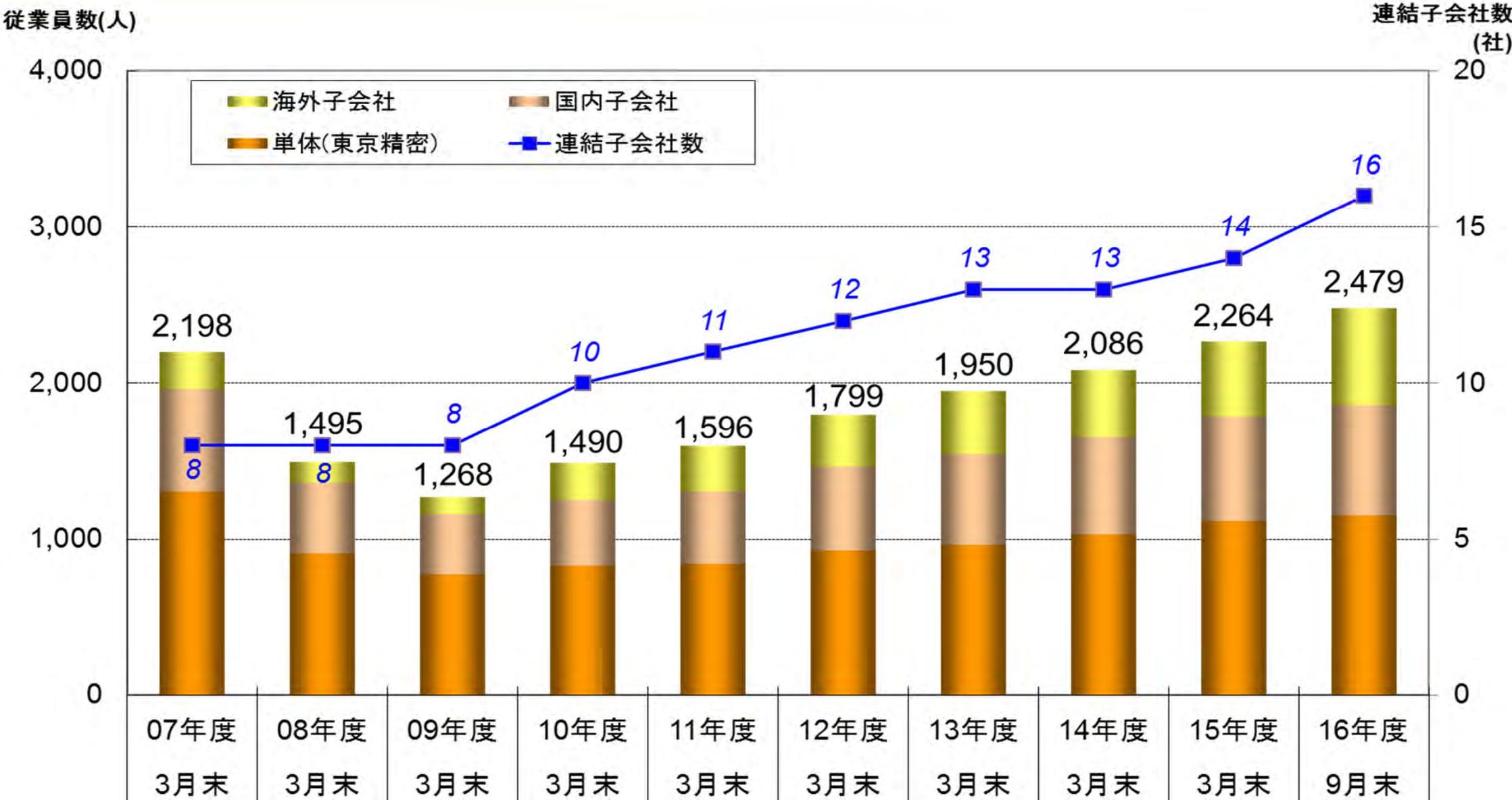
2016年度 第2四半期 貸借対照表

資産 (億円)	16/3末	16/9末	増減	負債/純資産 (億円)	16/3末	16/9末	増減
現預金	274	303	+29	支手・買掛金, 電子記録債務	118	145	+27
受取手形・ 売掛金・ 電子記録債権	260	253	-7	短期借入金	12	12	±0
在庫	161	164	+3	その他	84	60	-24
その他	32	21	-11	流動負債計	214	217	+3
流動資産計	727	741	+14	固定負債計	11	10	-1
固定資産計	292	307	+15	負債計	225	228	+3
資産合計	1,019	1,048	+29	純資産	794	821	+26
				負債・純資産合計 (内有利子負債)	1,019 (16)	1,048 (14)	+29 (-2)

2016年度 上期キャッシュフロー

単位:億円		14年度上期	15年度上期	16年度上期
現金等 期首残高		204	268	273
営業活動	税引前・償却前利益	71	88	75
	(売上債権+在庫) - 仕入債務	17	- 5	27
	納税	- 13	- 24	- 19
	その他	- 3	- 4	3
小計		71	56	86
投資活動		- 11	- 30	- 37
フリーキャッシュフロー		60	27	49
財務活動	社債・借入	- 2	- 2	- 2
	株式・配当金、他	- 5	- 13	- 14
	小計	- 7	- 15	- 16
増減額(含 換算差額・連結範囲変更)		53	13	30
現金等 期末残高		257	281	303

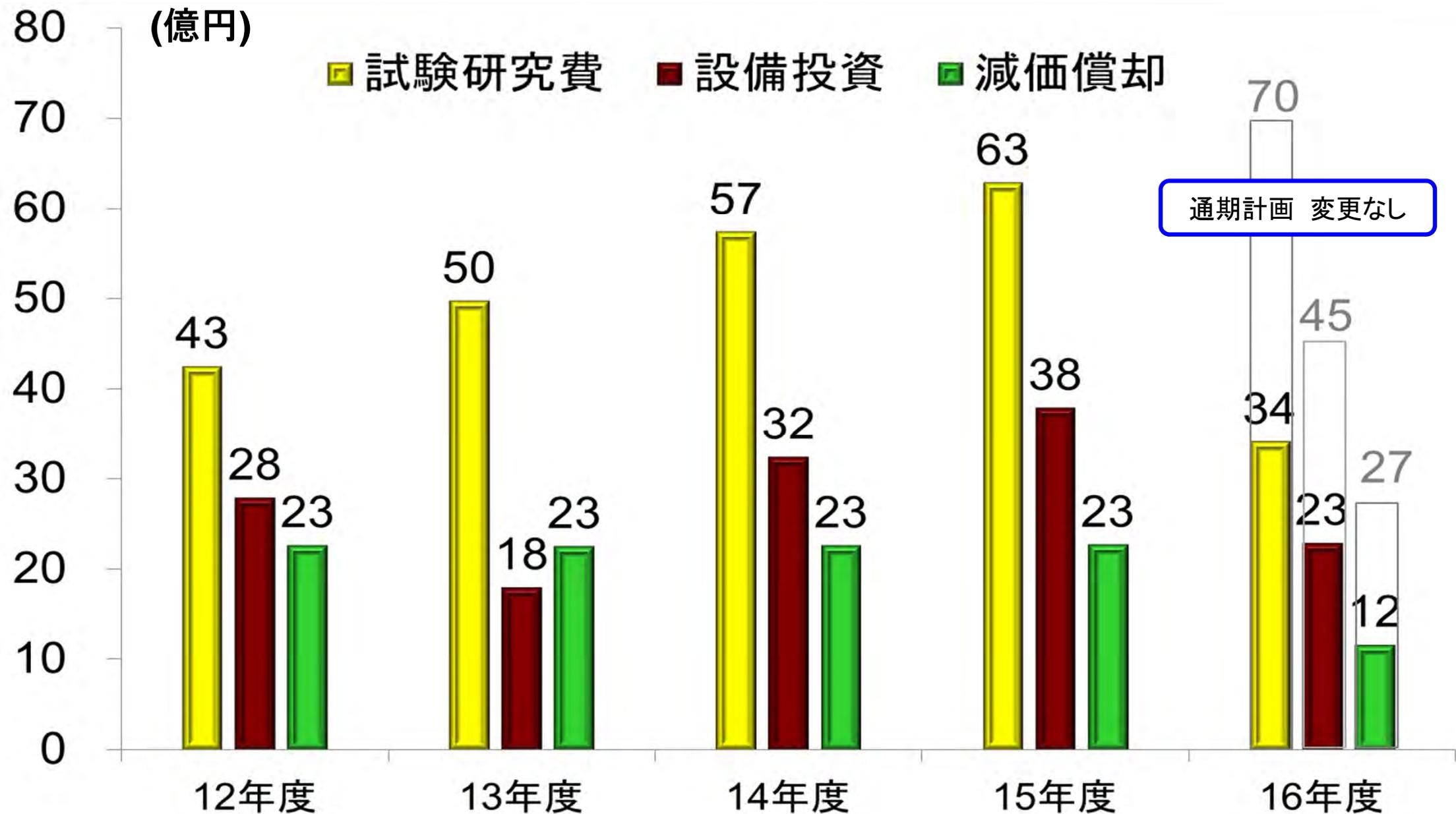
従業員数推移



注) 上記従業員は、正社員と期末時点の臨時従業員の合算



試験研究費、設備投資、減価償却 推移



◆半導体製造装置

- 足許の市況は好調
- メモリ・車載向けに加え、電子部品向けも堅調
- 更に、中国の需要に期待

◆計測機器

- 内需・自動車向けは引き続き堅調
- 外需(特にアジア)は低迷も、一部に回復の兆し
- 工作機械受注動向は引き続き注視

2016年度 通期業績予想

単位: 億円(配当除く)

	15年度			16年度				
	上期	下期	通期	上期	下期 予想	通期 予想	前回 予想 対比	前年比
売上高	380	323	703	372	353	725	+35	+3%
半導体	239	179	418	243	222	465	+57	+11%
計測	141	144	285	129	131	260	-22	-9%
営業利益	76	56	132	66	64	130	+15	-2%
同率	20%	17%	19%	18%	18%	18%	-	-
経常利益	77	56	132	63	65	128	+13	-3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	55	42	98	47	47	94	+10	-3%
1株配当	26円	33円	59円	34円	34円	68円	+8円	+9円

前回予想公表: 2016年8月9日



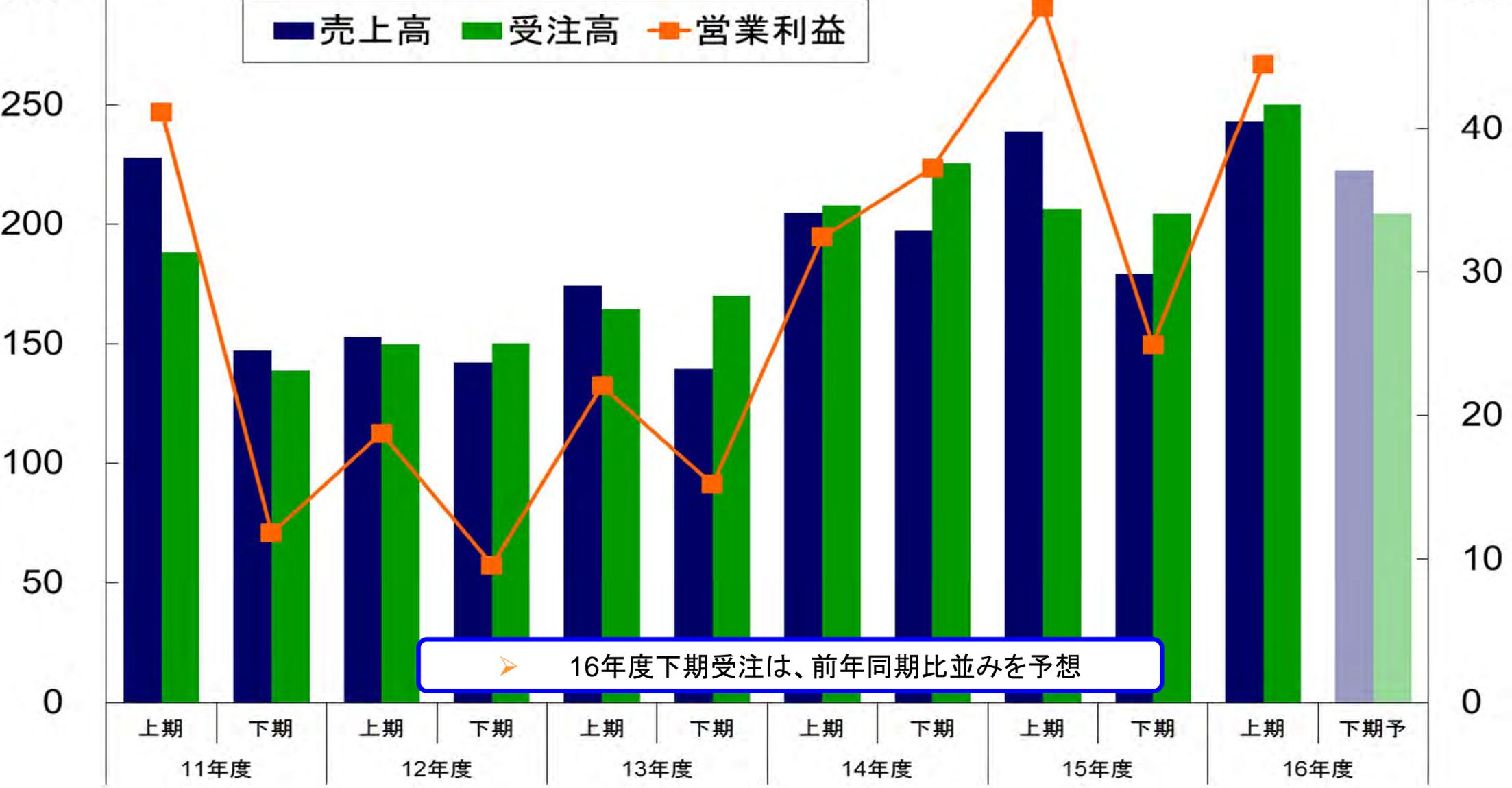
半導体事業 - 売上・受注高 見込

売上高・受注高

営業利益(億円)

300 (億円)

50



➤ 16年度下期受注は、前年同期比並みを予想

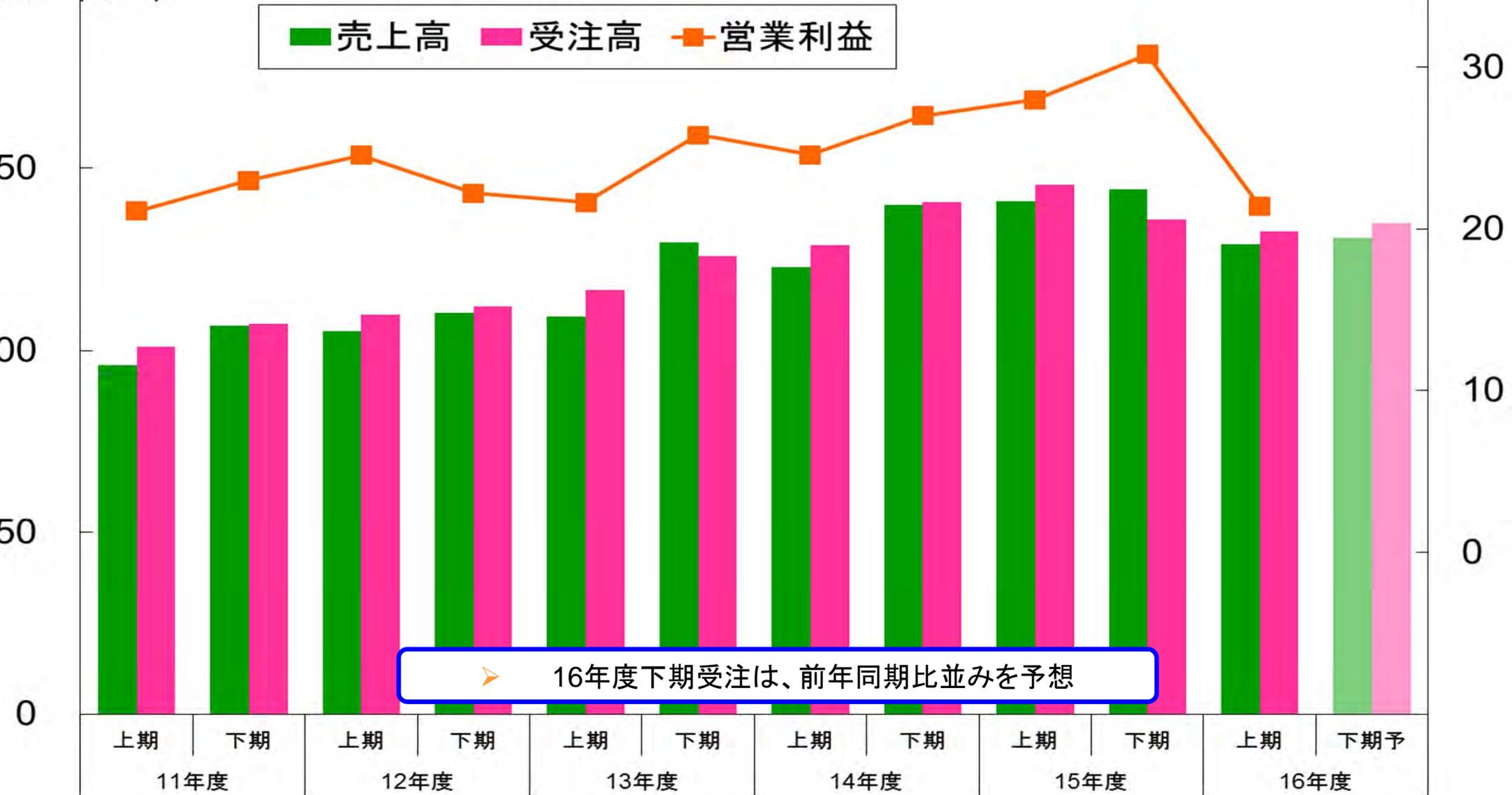
計測事業 - 売上・受注高 見込

売上高・受注高

営業利益(億円)

200 (億円)

■ 売上高 ■ 受注高 ■ 営業利益



➤ 16年度下期受注は、前年同期比並みを予想

企業理念

世界中の優れた技術・知恵・情報を融合して世界No.1の商品を創り出し、皆様と共に大きく成長してゆく

理念を示すモットー:

「WIN-WINの仕事で世界No.1の商品を創ろう」
WIN-WIN relationships create the World's No. 1 Products

コーポレートブランド:

ACCRETECH

“Accrete (共生)” と “Technology(技術)” の合成語

企業理念実現の枠組み

業績拡大・
企業価値向上

成長投資

強固な財務基盤

CSR・内外グループガバナンス

当社事業の特長

半導体 事業

- ・ 強み: 精密位置決め制御技術、内製化
- ・ チャンス: 新技術・新デバイス

計測 事業

- ・ 強み: 高精度・高分解能測定技術、信頼性
- ・ チャンス: 新分野・新興国を含む海外需要

- バランスの取れた事業構成
 - 異なる事業領域を有することによる安定性(需要変動影響を吸収)

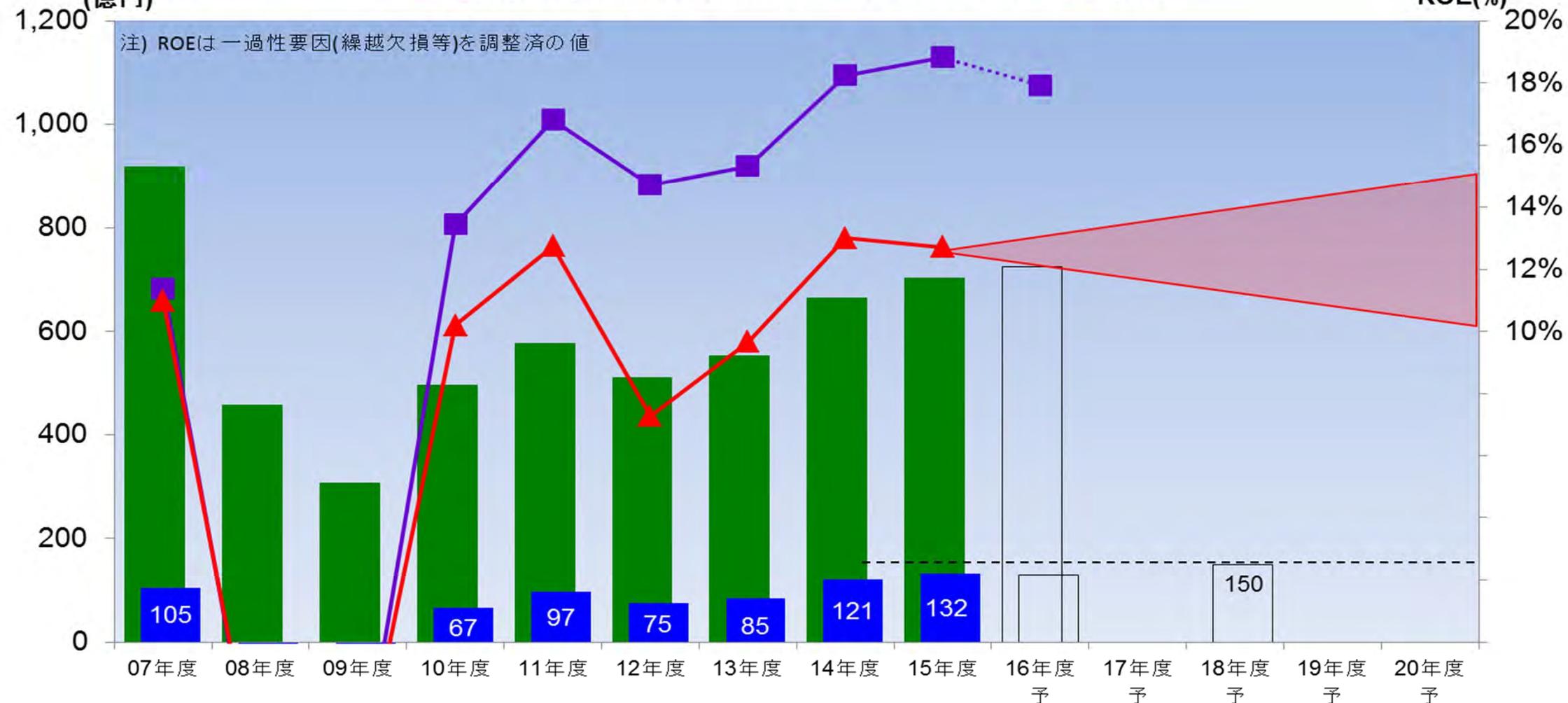


長期的な指標、中期目標

売上高、営業利益
(億円)

■ 連結売上高 ■ 営業利益 ■ 営業利益率 ▲ ROE

営業利益率、
ROE(%)



◆ 長期指標: ROE 10%以上の企業体質の維持

◆ 中期目標(~18年度): 営業利益 既往ピーク 150億円の更新

事業戦略の骨格

メインストリーム(主力マーケット)で競争力を高めつつ
安定需要・成長期待分野へ資源投下

半導体

主力市場:

- ・モバイル
- ・ストレージ
- ・自動車



安定需要・成長市場:

- ・中国市場
- ・IoT(特に小ウエハ)
- ・消耗品



計測

主力市場:

- ・自動車及び自動車部品
- ・工作機械



安定需要・成長市場:

- ・航空機
- ・オートメーション
- ・海外市場

継続的な売上と利益の拡大

半導体事業のポイント・今後

最終製品



モバイル



ストレージ



車載デバイス



プローバ:

- 「デパート化」であらゆるニーズ対応
 - ー耐環境製品の開発・展開
 - ーフレームハンドリング など



ダイサ・ブレード:

- 「ソリューション力」強化
 - ー電子部品向け対応力強化
 - ー他装置との包括プロセス提案 など



PG/研削装置:

- 最先端プロセス対応
 - ー高精度、新材料(SiC、GaN等)対応強化
 - ー他装置との包括プロセス提案 など

継続的な売上と利益の拡大



新製品による 売上の拡大

安定・成長業界への製品投入
光学測定機の拡販

海外における 売上の拡大

欧米導入事例の横展開

継続的な売上と利益の拡大



東京精密は
アクレーテクです